

R4.4.7 (木) 入学式 学校長式辞

『桜花 命いっぱい咲くからに 生命をかけて わが眺めたり』

少し早めに咲き始めた校庭の桜の花が、新入生の入学を待っていたかのように、今日まで咲き続けてくれました。山々の草木たちも春の柔らかい陽の光に照らされて、みなさんの輝かしい前途を予感させるような、明るく清らかで生き生きとした姿が見られます。

このような春の佳き日に、ご来賓として、旧松井田東中学校PTA神戸会長様、旧松井田南中学校PTA片岡会長様のご臨席を賜り、また、保護者の皆様のご出席のもと、安中市立松井田中学校の入学式を挙げていきますことは、この上ない喜びであります。

ただいま入学を許可されました新入生のみなさん、ようこそ松井田中学校へ。そして、保護者の皆様、お子様のご入学、本当におめでとうございます。我が子の凛とした姿を目の当たりにし、感激も一入かと思えます。心からお祝いを申し上げます。

ご承知のとおり、令和4年3月31日をもって、松井田東中学校と松井田南中学校は閉校し、4月1日より新しく開校した松井田中学校として第一歩を踏み出すこととなりました。みなさんは、その記念すべき最初の入学生となります。様々な不安もあると思いますが、少しずつ不安が期待に代わるように、私たちと一緒に新しい学校づくりを行っていきましょう。

さて、新入生のみなさんは、中学校での生活にどんなイメージを持っているでしょうか。小学校での生活との違いはどんなことでしょうか。

まず、小学校以上に教科によって教える先生が変わります。専門的な知識を身に付けた先生方が、より詳しく丁寧に授業をして下さいます。また、部活動も始まります。ぜひ、自分が三年間打ち込める部を見つけて、同じ目標に向かって仲間と力を合わせることの素晴らしさを、活動を通じて学んでほしいと思います。体育祭や合唱コンクール、榛名高原学校や修学旅行、職場体験学習など、3年間でたくさんの学校行事も予定しています。当面は、引き続き新しい生活様式を踏まえた学校生活を送ることになりますが、我々教職員も最大限の工夫をしながら、みなさんの成長の機会を提供していきたいと考えています。一緒に笑い、一緒に汗をかき、一緒に涙を流し、一生に一度しかない中学生としての青春を、この開校したばかりの松井田中学校で実りあるものにしていきましょう。この学校の歴史は、みなさんの歩みとともに始まるのです。

みなさんが今を生きる「令和」という元号には、次の時代を担う若者たちが、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせ、希望に満ち溢れた日本を造り上げていくことができるようにとの思いが込められているそうです。

昨年は東京オリンピック・パラリンピック、続いて北京冬季オリンピック・パラリンピックが開催されました。大会開催が危ぶまれる中でも、夢と希望をもち続け選手たちは私たちにたくさんの感動を与えてくれました。その中で、私が一番印象に残った選手は、スピードスケートの高木美帆選手です。

北京大会では、五種目に出場し、金メダル1個、銀メダル3個を獲得しました。この高木選手が初めて冬季オリンピックに出場したのが中学3年生の時です。みなさんと2歳しか年齢の違わない少女が、すでに世界を見据えて戦っていたのです。初出場の成績は、1,000m で35人中35位。中学3年生でオリンピック最下位という屈辱を小さな体全身で受け止めなければならなかった高木選手の気持ちを想像してみてください。その後、日本代表になれなかった時期も乗り越えて、3度目のオリンピックの舞台上でようやく金メダルを獲得することができました。つらくても再びこのステージに戻ってくるという強い決意と、未来への夢をもち続けた結果だと思えます。

みなさんの通学カバンのキーホルダーには新しい校章が刻まれています。みなさんの先輩である新3年生の生徒が考えてくれたこの校章には、上毛三山と松の木をイメージしたデザインが模られ、故郷の素晴らしい環境と温もりに見守られ、本校生徒が未来に向かって力強く羽ばたいてほしいという願いが込められています。中学校3年間の中には思い通りにならないこともきっとあるでしょう。しかし、それはみなさんが力強く未来に羽ばたくための成長の糧となるのです。高木選手のように自分を見失うことなく、そして、本校だけに留まらず、全国や世界を相手にする大きな視野をもって、いま胸に抱いている「夢」や「希望」の実現を目指して、力強く歩み続けてください。

みなさんが、中学校3年間で大きな夢を育み、友達との絆を深め、たくさんの思い出をつくり、それぞれの輝かしい未来に向かって力強く羽ばたいていくことができるよう期待して、式辞といたします。